

令和元年度 老人保健健康増進等事業 採択事業

事業名	事業概要
<p>地域包括ケアにおける北海道版「住」のまちづくりに関する調査研究事業</p>	<p>「住まい」の整備を核とした暮らし続けられるまちづくりについて、北海道沼田町をモデルに具体的な事例を構築する。「住まい」に ICT・IoT デバイスを実装することにより積雪寒冷・広域分散という北海道特有の課題の解決を模索することに加え、住民自らが健康づくり・介護予防に取り組む仕組みづくりをめざす。沼田町での「視察会」を開催し、「沼田モデル」の道内自治体への横展開を目指した取り組みを実施する。有識者・専門家による研究会を設置して、上記に関する検討・研究を行う。また、各地域における ICT デバイスの実装や仕組みの検討にあたっては、奈良県立医科大学を母体とする MBT (Medical Based Town) 研究所および MBT リンク株式会社と連携してノウハウを展開する。以上について取りまとめた報告書を作成する。</p>
<p>北海道の「地域医療構想」と地域包括ケアの連携を実現する「住民主体のまちづくり」促進に向けた調査研究事業</p>	<p>北海道の「地域医療構想」と各市町村単位の地域包括ケアシステムの在り方や健康づくりを住民主体で議論する場づくりを実践するため、「地域包括ケアシステムと地域医療をまちづくりと連動させる仕組み」構築の導入プロセスを、医療環境が異なる複数のモデル市町村で試行し、地域の実情に応じた取組課題を整理する。専門家や実践者等からなる研究会を設置し、人口減少が進む地域で、人生 100 年時代に向け、住民・行政・医療機関・他の関係機関が連携した「地域包括ケアシステムと地域医療をまちづくりと連動させる仕組み」を構築するためのプロセスモデルを提示し、報告書を作成する。</p>